

2011. 7



シルバー こうべ

編集発行：(財)神戸いきいき勤労財団
神戸市シルバー人材センター

〒651-0096 神戸市中央区雲井通5丁目3-1(サンパル10階)

●東部センター/857-3601 ●西区センター/993-0066

●中部センター/521-8000 ●北区センター/596-3181

●西部センター/621-6880 ●本部/252-0316

電話番号はおかけ間違いのないようお願いします

ホームページ <http://www.kobe-sjc.or.jp>

会員の皆さんの 自主的な事業立上げを応援します。

シルバー人材センターでは、通常、企業やご家庭の皆さんからお仕事をお受けして、そのお仕事を皆さんへご紹介させていただいています。

今回は、会員皆さん自身で自主的なグループを立ち上げていただき、お仕事を売り込んでいくことを応援します。

他のシルバー人材センターでは、「エアコンクリーニング班」「シルバー洗車隊」「パソコンなどの各種教室」等の事業を立ち上げています。

シルバー人材センターでは、皆さんがこのような活動や事業を立ち上げる際の初期費用について助成金を支給する制度をつくっています。

皆さんも自らの経験や技能などを活かして、新たな就業場所や就業分野を自主的に開拓していきませんか。この制度にご興味がある方、「こんなことをやってみたい」と思われる方は「シルバー人材センター企画課 TEL 252-0316」までお問合せください。

また、シルバー人材センターでは、会員の皆さんによるボランティア活動についても支援をしていく予定にしています。今後、シルバーこうべにてご案内いたしますので、積極的なご参加をお願いします。

《義援金のお礼》

このたびの東北大震災に対する義援金を募集しましたところ(シルバーこうべ4月号)、多くの方々からご協力・お振込をいただきました。また、5月15日に行われた神戸まつりにおいて、シルバー人材センターの出展ブースに設置した募金箱にも市民の皆様方から募金を頂きました。ここに厚くお礼申し上げます。

寄せられた義援金(¥156,800-)は、(社)全国シルバー人材センター事業協会を通じて、被災地のシルバー人材センターへ送金しました。36人の会員の皆さまご協力ありがとうございました。

(財)神戸いきいき勤労財団
理事長 竹中 幸雄

配分金支払日のお知らせ

7月分	8月分	9月分	10月分	11月分
8月15日(月)	9月15日(木)	10月17日(月)	11月15日(火)	12月15日(木)



“神戸の楽しみが光きらめく街” 「神戸ハーバーランド」は私たちの誇り”

＝神戸ハーバーランド(株)＝

JR神戸駅を降り海側の下りエレベーターを利用して降りた所、地下1階にデュオ神戸浜の手(デュオドーム)が有り、地下街(左右に食事処など有り)の通路をさらに海側に進むと神戸ハーバーランドセンタービルに達します。

そして上りエスカレーターで地上に出れば皆さんご存知のハーバーランドエリアが展開し、また、エスカレーター上から「スペースシアター」を見ることが出来ます。

この地区は、「海につながる文化都市の創造」をテーマとしてJR神戸駅の浜側に広がる旧国鉄湊川駅を中心に神戸市、民間事業者等により再開発され、1992年にグランドオープンしたウォーターフロントの立地を生かした新しい街です。

そのエリアの街づくりなどを地区事業者と協力して、企画、管理、運営しているのが「神戸ハーバーランド(株)」(神戸ハーバーランドセンタービル8階)です。

そこに中部センターより継続業務として川合雄司さん、平川信子さん、南ヤス子さんの3名が就業され、他に単発的・季節的には野村典生さん、脇田佳典さん他数名の会員の方々がローテーションにより色々な業務に取り組んでおられます。

継続的な仕事は、ハーバーランド入口の北デッキ及び南デッキを始め、神戸ガス燈通り、ハーバーロードなど南はモザイクまでのハーバーランド一帯の広範囲に渡る街路樹、花壇、歩道などの清掃管理また、単発的な仕事はハーバーランドセンタービル地下1階にある「スペースシアター」で開催されるイベントの舞台、客席等の設営及び終了後の撤去作業等で、もう一つは、季節的な仕事ではありますが、モザイクガーデンに接するハーバービーチ内の砂場の整備、休憩用の屋外テーブル・椅子等の清掃の仕事です。

今回は、経験豊富な川合さんに日常における苦労話等お話をお伺いしました。

清掃に関しては、緑が多い分 秋になると街路樹の落ち葉の清掃、タバコの吸殻のポイ捨て、食事後のトレイ・レジ袋の始末など環境の美化に気を使いますとのこと、併せて歩道等の傷みを発見した場合には速やかに報告するなどきめ細かい心遣いと併せ、周囲のゴミ箱を減らす提案などで随分と環境も良くなったとのことでした。

また、「スペースシアター」のイベント会場の舞台等設営時には、ポータブルステージの組み立て、衝立パネルの設置時等運搬時のフロア等へ念入りの養生等を実施するなど、早くて丁寧な仕事ぶりに評価を戴いております。

神戸ハーバーランド(株)におかれましては、様々の取り組みを実施され街の美化に寄与したということで地区の広報誌に紹介され、表彰を受けたりと高い評価を得ておられます。大変うれしいことです。

このエリアは、環境も良く食事、ショッピング、映画館、温泉、さらにお孫さんが喜ぶ遊園地など商業、文化施設、娯楽施設まで幅広く楽しんでいただけます。一度散歩がてらに足を伸ばしてみてくださいは如何でしょうか。



ハーバービーチ砂場遊び・休憩コーナー



ハーバーランド入口付近



スペースシアター

人生遊歩

シルバーを楽しく

西部センター

無償の奉仕活動に喜び

垂水区 湯口 英男さん

西部センターで就業中の会員の方の中に、ボランティア活動にとっても熱心な方がいらっしゃいます。

垂水区にお住まいの湯口英男さん(78歳)です。現役時代は27年間日本赤十字社に勤務し、定年退職後は同社が開催する献血推進活動に積極的に参加されています。



三ノ宮ミント神戸前で「はばタン」と

JR三ノ宮駅前で市民の方々に献血を呼びかけるるとともにご本人自身も献血を行い、その回数は215回を数えます。献血のたびに血液検査を行ってもらい健康には人一倍気を使っています。

日常生活では午後7時以降の外出は極力避け、趣味は仕事と言い切る湯口さんはですが、強いて言えばカラオケで新曲が発売されるたびに新しい歌を覚えるためCDを購入する以外は極めて質素な生活を送っていらっしゃいます。

シルバー人材センターとの関わりといえば、鷹取・

須磨・垂水・高速長田・名谷などの駅前で朝一番から午後にかけての駅周辺の道路美化作業です。歩道が綺麗になったときには気持ちも清々し、通行中の方から“ご苦労さん”と声をかけられるととても嬉しく感じます。

仕事に取り組む姿勢といえば、まずとにかく相手の話を良く聞くことから始めます。

明石での自動車運転免許更新日には、献血の呼びかけを行ったり、案内係を務めています。

ボランティア活動とはいえ、行き帰りの事故などにあった時のために保険はかけてくれているそうです。

このように仕事にもボランティアにも積極的に進んで参加する湯口さんの行動には脱帽するしかありません。



運転免許更新センター前で社会保険神戸専門学校の生徒たちと

気のゆるみ 慣れと油断が 事故のもと

7月は安全就業月間です

安全な就業は何にもまして重要なことです。

神戸市シルバー人材センターでは、近年重篤な事故（死亡または6ヶ月以上の入院）は発生していませんが、全国では毎年50件以上の死亡事故を含む重篤事故が発生しています。

神戸市シルバー人材センターの平成22年度の傷害事故で多いのは、つまづきや足を滑らせての転倒事故（19件）、剪定作業中などの落下事故（3件）などとなっており、これの事故のほとんどが、会員のちょっとした気のゆるみ・慣れ・油断等が原因となって発生しています。

センターでは、安全パトロールの実施、交通安全講習会、会員懇談会などの取り組みを行い、事故の未然防止に努めていますが、会員一人ひとりが「安全第一」を意識して行動することが重要です。

今後とも「事故ゼロ」を目指して安全就業を心掛けましょう。

重篤事故の推移
(全国シルバー人材センター)

年度	就業中	就業途上	計
18	29件	28件	57件
19	29件	24件	53件
20	35件	18件	53件
21	28件	29件	57件
22	29件	19件	52件

傷害事故の推移
(神戸市シルバー人材センター)

年度	就業中	就業途上	計
18	36件	7件	43件
19	47件	9件	56件
20	39件	11件	50件
21	32件	8件	40件
22	29件	5件	34件

作業安全心得 10か条

安全第一 健康第一

- ① 作業は安全第一を心がけ、急いだり、あわてたりしないこと。
- ② 使用機具類は使用前に必ず点検すること。
- ③ 服装や履物は作業にあった動きやすいものにすること。
- ④ 作業前に軽い柔軟体操をして体をほぐすこと。
- ⑤ 自分の体力や体調を十分把握し無理しないこと。
- ⑥ 作業現場は常に整理、整頓に心がけること。
- ⑦ 共同作業では、合図・連絡を正確に行うこと。
- ⑧ 帰宅するまでは仕事のうち、交通事故に気をつけること。
- ⑨ 健康には常に注意し、健康な状態で就業すること。
- ⑩ 仕事の前日には、十分睡眠をとるよう心掛けること。

夏休み親子「手提げ小袋」作成教室に参加しませんか。

～お好みのプリントで自分だけの可愛いバッグを作ってみませんか～

神戸市シルバー人材センター・兵庫勤労市民センタータイアップ特別講座として、親子「手提げ小袋」作成教室を開催します。

シルバー人材センターマシン工房の会員が丁寧にお教えします。また、幼児をお連れのお母様には、講習の間、出前託児サービス“ぴよぴよ隊”の会員がお子さんの託児を行います(無料)。

- ☆日 時 平成23年8月1日(月)9:30～12:00
- ☆場 所 兵庫勤労市民センター 服飾室
- ☆材 料 費 1,000円
- ☆募集人員 15組(先着順)
- ☆申 込 み 兵庫勤労市民センターまで電話でお申込みください(TEL576-0981)
第3木曜日は休館



神戸市シルバー人材センター設立30周年記念標語を募集します

昭和57年2月に発足した神戸市シルバー人材センターは、平成24年2月に設立30周年を迎えます。この度、設立30周年を記念して「30周年記念標語」を募集します。

募集内容・要件

- ① 設立30周年を祝える内容であって、「高齢者の能力を活かした活力ある地域社会づくりに取り組む」ことを目的にしている「神戸市シルバー人材センター」をPRできるもの
- ② 文字数は20文字程度とします
- ③ 1人が応募できる作品は3点までとします
- ④ 標語については、既に発表や応募したものではないこと、また第三者の作品を使ったものではないこと
- ⑤ 会員以外の方も応募できます

応募方法

官製はがき裏面に「標語」・住所・氏名・年齢・電話番号・会員番号を記入し、〒651-0096 中央区雲井通5-3-1 神戸市シルバー人材センター「30周年記念標語」の係まで郵送してください。

締め切り

平成23年8月10日(消印有効)

優秀賞・入選の発表

(優秀賞1点、入選3点 それぞれ表彰状・記念品を授与します)

平成23年9月6日(火)開催の「シルバーのつどい」で発表・表彰します。

神戸マラソン清掃ボランティアを募集します

11月20日(日)に全国から応募された2万人のランナーが神戸の街を駆け抜ける第1回神戸マラソンが開催されます。

開催にあたり、シルバー人材センターでは、未就業の会員の方を対象に中央区から垂水区までのマラソンコース沿いの歩道の清掃ボランティアを募集します。

たくさんのランナーの方々をお迎えするにあたって、是非大勢の会員の皆さんの参加をお待ちします。

募集人員200人

清掃の日時、場所等については別途お知らせします。

また、交通費程度の実費(1,000円)はお支払いします。

参加希望者の方は、「シルバー人材センター事業課 TEL 252-0316」までお問合せください。

(FAX可 241-9114 住所・氏名・電話番号・会員番号をご記入下さい)

「交通安全講習会」

受講生募集

就業途上、帰宅途中の交通事故が毎年発生しています。幸い重篤な事故の発生はありませんが、会員の皆様に安全に就業していただくため、下記の内容で講習会を実施します。
会員の皆様の応募をお待ちしています。

1 研修日程・内容

日 程	講 座 名	会場(勤労会館)
9月28日(水) 午後3時00分～4時30分	「交通安全講習会」 兵庫県警による高齢者交通安全の実践指導	勤労会館 2階 多目的ホール

2 会 場

神戸市勤労会館 (神戸市中央区雲井通5丁目1-2)

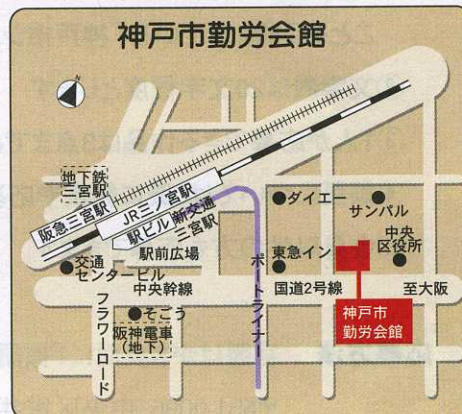
3 募集人員 50人

4 応募方法

「電話」にて、神戸市シルバー人材センターに申し込んでください。電話 **(078) 252-0316**
神戸市シルバー人材センター 交通安全講習係
※「先着順」となります。

5 受講料 無料

6 申込期限 平成23年8月31日(金)

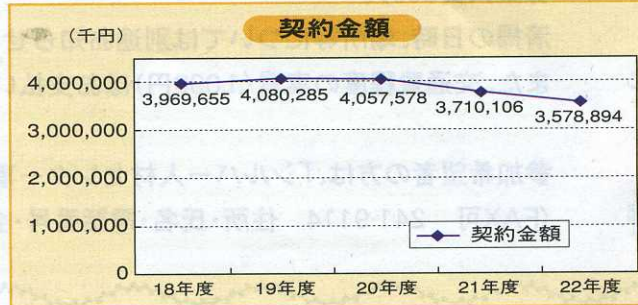
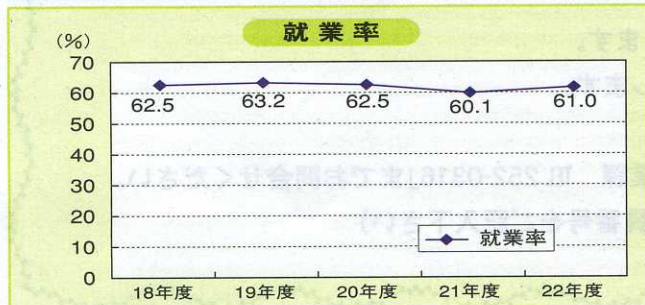
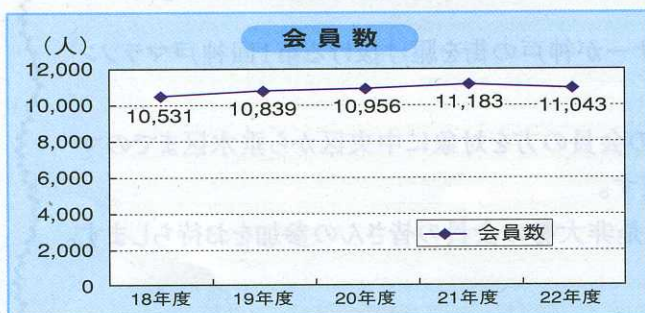


平成22年度事業実績

シルバー人材センターでは、昭和57年2月の設立以来、高齢者に対し就業を通じて生きがいの場を提供し、高齢者の福祉増進と活力ある地域づくりに寄与してきました。

平成22年度の事業実績は、会員数11,043人(前年度11,183人)、契約金額3,578,894千円(前年度3,710,106千円)、就業実人員6,731人(前年度6,721人)、就業率61.0%(前年度60.1%)となり、不況の長期化などの影響を受け、平成20年度・21年度と2ヵ年連続で契約金額が前年度の実績を下回ることになりました。

このような状況の中、会員の皆さまの就業機会の確保を図るため、平成21年7月に「神戸市シルバー人材センター就業開拓推進プロジェクト」を設置し、全職員・全センターを挙げて就業開拓活動に取り組んでいるところですが、会員の皆さまにおかれましても今一度シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立、共働・共助」のもと、お住まいの地域や就業先近辺でのシルバー人材センターのPR活動、受注開拓活動、自主的な事業立上げなどの取り組みを進めていただきますようお願いいたします。



いきいき シルバーのつどい

～財団設立30周年記念～

入場無料(往復はがきで申し込んでください)

平成23年度「財団設立30周年記念 いきいきシルバーのつどい」を開催いたします。講演は『がばいばあちゃん』でお馴染みの島田洋七さんをお迎えし、楽しく元気になる話をさせていただきます。また、映画は中村雅俊主演の感動作「60歳のラブレター」を上映いたします。どうぞお楽しみ下さい。

■と き 平成23年9月6日(火) 13時～17時 (開場12時30分予定)

■と ころ 神戸文化ホール 大ホール

■プログラム

1 講演：島田洋七さん
演題：「人生楽しくて当たり前」

2 映画：「60歳のラブレター」
深川栄洋監督作品

内容：仕事一筋の夫・孝平(中村雅俊)と献身的な専業主婦ちひろ(原田美枝子)は定年退職を機に離婚を決意。時間を持って余すちひろは家政婦の仕事に挑戦し、翻訳家・麗子(戸田恵子)の家で働き始める。一方、張り切って第2の人生を歩み出すもさまざまな挫折を味わい、自信を失いかけていた孝平は、娘(星野真里)の出産見舞いでちひろと再会し……。



<プロフィール>



漫才コンビB&Bとして、1980年代の漫才ブームの先駆者となる。

NHK漫才コンテスト、上方漫才大賞、読売テレビ・上方お笑い大賞など数々の賞を受賞し、『もみじまんじゅう』のギャグは一世を風靡する。

また、著書『佐賀のがばいばあちゃん』はシリーズ670万部を超え、韓国版、台湾版など世界各国に広がりを見せている。また、映画化、ドラマ化、舞台化などが相次いで実現し、いずれも高い観客動員数・視聴率を記録し、「がばい」旋風を巻き起こした。

現在は漫才師としての活動の傍ら、講演、執筆活動にも精力的に取り組む。自分の人生論や経験、おばあちゃんとの生活などを元に語る講演会はこれまで開催4,000箇所を超える。漫才さながらの笑いあり涙ありの講演は、お年寄りから子どもまで、老若男女が楽しめるものと好評を博している。

※申込みは、往復はがきで!

※締め切りは7月22日(金)必着(先着順受付)

参加ご希望の方は、往復はがきで下記の要領で申し込んでください。申込みは、シルバー人材センター会員ひとり1通に限ります。同行のある方は1人まで。(会員でなくても結構です)

往信(表)

6510096
 往信
 神戸市シルバー人材センター
 シルバーのつどい係行
 中央区雲井通5-3-1

往信(裏)

いきいきシルバーのつどいに
 参加します
 会員番号: _____
 氏名・年齢: _____
 郵便番号・住所: _____
 電話番号: _____
 同行者の氏名・年齢: _____
 参加人数: _____ (1名か2名)

返信(表)

郵便番号もお忘れなく
 返信
 あなたの住所
 氏名

返信(裏)

※記入しないで
 ください。
 結果をお知らせ
 します。

2名参加の場合、必ず書くこと

市民のみなさん、節電にご協力お願いします。

東日本大震災による原子力発電所の事故の影響により、夏の電力不足が懸念されます。これに備えるためには、まず、ご家庭や事業所など、日常生活や事業活動などの中で、できることから「節電」することが大切です。

神戸市では、このたび、電力使用のピークを迎える夏に向けて、市民の皆さんや事業者の方々に「15%の節電」に向けた省エネ行動の実施を呼びかけています。

【15%節電の一例（4人世帯の場合）】

夏（1ヶ月間）の電力使用量 平均700kWh

電力削減目標 105kWh



主な節電行動		1ヶ月の節電量
エアコン	設定温度を27℃から28℃に上げる	10kWh
	使用時間を2時間短くし、代わりに扇風機を使用する	54kWh
	フィルターを月に1回か2回清掃する	10kWh
冷蔵庫	ものを詰め込みすぎない	4kWh
	設定温度を「強」から「中」にする	5kWh
その他	電気ポットを長時間使用しないときはプラグを抜く	9kWh
	温水洗浄便座の設定温度を冷房期間はオフにする	2kWh
	照明の点灯時間を短くする（蛍光灯5灯）	2kWh
待機電力	省エネモードの利用、主電源オフ、コンセント非接続など	9kWh
合計		105kWh

このほか、電化製品の買い替え時に、省エネタイプを選ぶことも効果的です。

	1ヶ月の省エネ量
冷蔵庫の買い替え（401L以上）	40kWh
白熱電球（54W）をLEDランプ（4W）に交換	3kWh
エアコンの買い替え	47kWh
テレビの買い替え（ブラウン管32型→LED32V型）	12kWh

これらを参考に、みなさまのご家庭でも、無理のないよう、できることから節電に取り組んでいただきますようお願いいたします。

**【このほかの効果的な取り組み】
●こうべ打ち水大作戦**



最近、地球温暖化やヒートアイランド現象などにより都市が暑くなってきており、このような現象を緩和するためには、省エネ等によって人工排熱を減らしたり、水をうまく循環させたりしていく必要があります。神戸市では、「こうべ打ち水大作戦」と称して、日本の昔からの習慣である打ち水を体感し、冷房等に頼らない涼しい夏の過ごし方について考えていただく取り組みを実施しています。特に、自治会や婦人会等の団体で打ち水を実施される場合、特製うちわをお渡ししたり、のぼりをお貸しするなどの支援を行っています。地域の祭やイベント等で打ち水を実施し、涼しさを体感してみてください。

【担当】神戸市環境局環境創造部地球環境課 電話 078-322-5301 FAX 078-322-6068
E-mail: chikyukankyo@office.city.kobe.lg.jp

～港で出会う芸術祭～ 神戸ビエンナーレ 2011

神戸ビエンナーレ2011ボランティアスタッフ（神戸ARTサポーターズ）を募集しています。



神戸ARTサポーターズ(KAS)は、神戸ビエンナーレ2007のボランティアスタッフをもとに、その後も神戸のアート活動をサポートしていく目的で誕生しました。

アートに触れて笑顔に輝く来場者の方々と楽しいふれあいのひとときを神戸ビエンナーレで味わいませんか？
神戸ビエンナーレをお手伝いして下さるボランティアを募集しています。会場でのお客さまの案内やチラシの配布など、その他にも様々なタイプのお手伝いをお願いしたいと考えています。そして、神戸ビエンナーレに来てくださったお客様にさらに素敵な笑顔を携えて帰っていただくお手伝いを、皆様をお願いします。



神戸ビエンナーレのボランティア経験者に、今までの活動で何か心に残っているかを質問しました！

『作家さんの作品づくりに参加させていただいたこと。作品にとっても愛着が湧きました。会期中は お客さまがアートに触れて、驚いたり笑顔になったりされるのを見るのが楽しかったです。お客さまとの会話も癒されました。』

会期：2011年10月1日（土）～11月23日（水・祝）（54日間）
会場：神戸ハーバーランド 10:00～18:00（入場は閉場30分前まで）
ポアアイル公園
兵庫県立美術館（ギャラリー棟3F ギャラリーほか）
10:00～18:00（入場は閉場30分前まで）
元町高架下（JR神戸駅～元町駅間）11:00～19:00 他

お問い合わせ先
神戸ビエンナーレ組織委員会事務局
〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1
（神戸市役所2号館1階）
supporters@kobe-biennale.jp
078-322-6598
http://kastop.blog60.fc2.com/（PC）
http://kastop.blog60.fc2.com/?m（携帯）



神戸ビエンナーレは、東日本大震災で被災された皆様に支援します。

新任所長あいさつ



会員の皆様はじめまして、今年5月から東部センターでお世話になっております。神戸市のシルバー人材センター事業につきましては、皆様方の真摯な取り組みにより高い評価を得ていると認識しております。

しかしながら、景気後退の影響や発注者の契約形態の見直し等により受注契約金額、就業率とも年々減少傾向にあり、非常に残念でなりません。

今後高齢化社会の進展により、生きがいづくりへのニーズがますます高まっていくことを考えると、就業の場の開拓をはじめとする事業の発展に向けた取り組みをさらに強く進めていかなければならないと思っております。

微力ではありますが、センター職員一丸となって努力してまいりますので、皆様方もなお一層のご支援・ご協力をお願いいたします。

東部センター所長 うね め きよ のり 采女 清統



6月1日から、北区センターでお世話になっております。よろしくお祈りいたします。

着任早々、除草作業の現場に行きました。会員の皆様、石を飛ばさないように、ケガをしないように、細心の注意を払って作業をされていました。皆様のお顔は真剣そのもので、いきいきと輝いていました。

健康でいつまでも働きたいという会員の皆様に、北区の地域特性にあった仕事の発掘などにより、少しでも多くの就業の場を提供できるよう努めたいと思っております。

会員の皆様の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

北区センター所長 の せ ひ と し 能勢 均



森所長の後を受け、5月1日より西区センターでお世話になっております。

着任前に想像していたよりも遥かに活発に会員の皆様が頑張っておられるのを目の当たりにして、少し認識不足であったと引き締めると同時に、シルバー人材センターの重要性と今後の発展の可能性を確信いたしました。

経済の状況はますます厳しさを増し、就業の場の確保もなかなか十分とはまいたりませんが、会員の皆様とセンターとのパートナーシップを大切に、職員一同、全力で頑張りたいと考えております。会員の皆様方の一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

西区センター所長 す ず き さぶ ろう 鈴木 三郎

勤労市民センター“平成23年秋季定例講座”受講生募集!

受付申込期間 8月20日(土)~9月7日(水)

各勤労市民センター・勤労会館では、文化・趣味・スポーツなどの秋季定例講座受講生を募集します。募集受付期間は8月20日(土)~9月7日(水)までです。募集パンフレット・申込書は、各勤労市民センター・勤労会館・区役所などで8月中旬に配布します。申込方法など詳しくは下記までお問合せください。

- (財)神戸いきいき勤労財団 生涯現役支援課 ☎251-5561
- 勤 労 会 館 ☎232-1881
- 新長田勤労市民センター ☎643-2431
- 六甲道勤労市民センター ☎841-1711
- ピ フ レ ホール ☎621-1120
- 兵庫勤労市民センター ☎576-0981
- 垂水勤労市民センター ☎708-8901

センター だ・よ・り

西区センター

西区で実績あげる47人の「便利屋さん」 「暮らしの応援」に親身な活動

西区センターの「地域便利班」活動が発足から1年経ち、着実な実績を上げています。「地域密着」「暮らしの応援」を前面に出し、要望があればすぐに親身になって対応するまさに「便利屋さん」チームです。47人で編成するフットワークも軽い「四十七士」は今日も広い西区内を走り回っています。

「地域便利班」は市内各地区で一般家庭などを対象に実施している地域貢献活動グループ。西区センターでも昨年までは数少ないメンバーで活動してきました。しかし、少子高齢化等の中で高齢者家庭からの「ちょっとした仕事」の依頼が急増。このため「暮らしの応援にシルバー会員の力を」として昨年、それまでの「地域貢献班」の名称をわかりやすい「地域便利班」に改称しメンバーも増やして事業展開の拡大を図ってきました。

活動内容は日常生活の多岐にわたりますが、このほど1年間の活動結果がまとまりました。受注件数は300件を超え、昨年の2倍を上回る実績でした。就業の内容では「換気扇・空調機掃除」がトップ。続いて「草取り・小剪定」「火災警報器取り付け」「家具の移動・解体・搬出」「水やり・散水」「その他の軽作業」の順でした。

依頼者からのシルバー会員に対する評判は上々でした。地域の安全づくりに貢献する住宅用火災警報器の取り付けは個人のほか自治会からまとまった依頼があり、その大半が高齢者家庭。男女ペアで訪問し、男性が設置している間は女性が取扱いの説明や笑顔で話し相手。また、換気扇清掃も油污れ用の洗剤を使用してピカピカにしたり、お年寄りには手の届きにくい高所での空調機清掃は大変喜ばれました。家具の廃棄や移動も大型ゴミの有料化に伴い依頼が相次いでいます。去年は酷暑と長期間の雨量ゼロのため個人宅での植木の水やりも目立ちました。いずれもシルバー会員のていねいな仕事ぶりは依頼者に安心感を与え、評判は口コミでも広がったようです。

今後について、西区センターは先の地域便利班懇談会で「便利班は高い評価を得ている。この活動は会員の一層の生きがいと地域の活性化につながり、同時に就業の拡大にも結ぶつくことなのでさらに実績を積み上げていきたい」と述べました。また、会員からは「高齢者が高齢者をサポートする時代になった。そのことを忘れずに仕事をしたい」「高齢社会の中で便利班はなくてはならない存在」という声も出され、会員一同区民のみなさんに期待されているという認識と充実感を新たにしました。



会話も弾む



火災警報器取付け



家具搬出



家屋清掃



就業懇談会

